

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。

わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会 ニュースレター

第 184 号 (2025 年 7・8 月合併号)

いずみ

仮会堂：高松市浜ノ町 60-78
(日曜日のみ)
Tel：070-2247-2181
発行人 宮地 宏一



先月中盤から 30℃を超える日が続出し、下旬には梅雨が明け、もうすでに夏バテ気味です。小さいころ、夏になると三浦スイカを良く食べていました。大きくて少しゴツゴツした三浦スイカは、本当に甘かったです。父が仕事で農協に行ったときにいただいたり、母が重いスイカを二つ抱えて買い物から帰ったこともありました。三浦スイカ丸々一個が我が家の夕食なんて日もあったのです。でも一つ問題が、、、スイカは利尿作用があり、夜中に何度もトイレにいかなくてはなりません。この辛さが分かっているけど、スイカはやめられない。夏バテにはスイカ。スイカをたくさん食べて、夏を乗り切りましょう。



今月も神さまからの恵みが、お一人お一人の上に豊かに注がれますように。

(2025.07.01)



ワンダフル・カウンセラー

「これ、なあに?」「どうして、こうなるの?」幼かった私は、何でも父に尋ねました。そうすると、父はすぐに答えてくれたのです。幼心に分からないことは、父に聞けば良いという安心感がありました。高校生ぐらいになると、分からないことは図書館で調べたり、先生に聞くことが多くなったのです。また 20 数年前からインターネットが普及し始め、Yahoo! や Google で検索することが増えました。分からないことを打ち込むだけで、瞬時に様々な情報が手に入り、自分で調べる手間が極端に減ったのです。



さらに最近では Google で検索するのではなく、ChatGPT に聞く人が増えたそうです。早速 ChatGPT に「ChatGPT とは何か?」と尋ねてみると「自然な会話形式で質問に答えたり、文章を生成したりできる AI チャットサービスです」と答えてくれました。今、若者たちの間では ChatGPT の回答があまりにも的確で、自分の気持ちに寄り添ってくれると大変好評のようです。

生身の人間は、時に余計なことを言ったり、間違ったアドバイスをすることがあるので ChatGPT の方が良いのだと…。思い当たるが多々あり、心苦しい限りです。ある会議では「ChatGPT が〇〇と言っています」と、何でもかんでも ChatGPT に質問していた人がいたと聞いてビックリしました。

行き詰ったときに ChatGPT の回答を参考にするのは、悪いことではないでしょう。けれど自分で何も考えず、最初から人工知能に頼り切り、その回答を絶対視するのは少々危険な香りがします。

先日新聞で、文芸評論家の三宅香帆氏が【現代の若者は「すぐに報われたい」「とりあえずの『正解』を求める」という二つの傾向がある】と語っていたのです。

その「正解」志向の極致が、生成 AI だ。無駄なく報われることを求めるとき、膨大な検索結果の取舍選択に一手間かかる Google 検索は必要とされない。…





「正解」をすぐに提示して「報われさせて」くれる ChatGPT などの AI が、今後「疑似親」として受け入れられていく。

…ただ、その「正解」は「あくまで、かぎ括弧つきの『正解』」でしかない」とも言う。…生成 AI は開発者や国、文化によって思考方法やデータベースなどが異なり、唯一無二の正解は得られない。「本当に正しいかどうかよりも、寄り集まれるとりあえずの『正解』の方が重視され、求められている」

【朝日新聞 2025.6.18「論壇 Bookmark」より】

先行きが不安定で、将来に対する希望が乏しいからこそ、すぐに報われたい、とりあえずの正解を知って安心したいという思いが強いのでしょう。多くの人「これが正しいのだ！」と、はっきり示してくれることを望んでおり、その強い意見に乗っかりたいのです。



その方が自分でじっくり考えて、答えを出すよりも楽で、時間もかからず、責任もないからです。結局は、自分で考え、人とのコミュニケーションを取ることを放棄しているのです。

確かに ChatGPT に聞く方が煩わしくありません。無駄な気遣いが必要ない。けれど顔と顔を突き合わせて、不毛とも思える議論を重ねるうちに、思いがけない良いアイデアが生まれることがある。欠けらだけの私たちが、時に傷つけ合いながらも長い時間をかけて関係を築いていくとき、すっきりした答えが与えられる以上の収穫があるのです。

また自分でしっかり悩み、考え抜いて出した結論は、たとえそれが上手くいかなかったとしても、無駄にはなりません。私たちにとって生きる力となるのです。

イエスさまは弟子たちの質問にすぐに答えず、質問で返されることが多かったのです。それは何も考えずに従うことが、イエスさまの願いではなかったからです。イエスさまは弟子たちが自らで考え、時に悩みながら、自らの意志でご自分に従うことを望んでおられたのです。



私たちに対しても同じです。イエスさまは盲目的に従うことを喜ばれません。聖書には「こう生きたら幸せになれる」という How To が事細かく書かれているわけではないのです。

「神さまを愛し、隣人を愛する」ために、どう生きるかが問われています。でも自分で頑張っただけで答えを見つけるわけではないのです。私たちはどんなに努力しても完璧に「神さまを愛し、隣人を愛する」ことができないからです。

だからこそワンダフル・カウンセラーであるイエスさまが共に歩んでくださるのです。イエスさまは聖書を通して、祈りの中で、家族・友人たちとの語らいによって、私たちがどのように生きたら良いかを教えてください。しかし大切なのは、それに自発的に応答したら、すぐに報われるわけではないという点です。自分の願いとは、異なる道に進まなければならない時もあるでしょう。迷い、暗闇をさまようこともある。

けれど、どのような道でも、イエスさまに信頼し、イエスさまに聞きながら一步一步進むなら、そこに大きな報いがあり、すべての理解を超えた神さまの平安が与えられるのです。

あなたの道を主に委ねよ。主に信頼せよ。

主が成し遂げてくださる。[聖書]



- 礼 拝 毎週日曜日 10：30～12：00
- イズミン・キッズ 毎週日曜日 9：30～10：20
- おやこ de えほん 毎週水曜日 10：30～12：00



* どなたでも歓迎いたします！すべて事前申込みなしで参加いただけます。

上記の他に様々な相談や聖書の学びをすることができます。お気軽にお問い合わせください。